

出すことと 出たものへの まなざし

「排泄の自然誌を編む研究会」は、ヒトを含む生きものの排泄行動と排泄されたものから生み出される研究活動を網羅的に扱う研究会です。

第2回研究会では、総合地球環境学研究所の山極寿一所長を迎えて、野生ゴリラの排泄エピソードを伺います。さらに、排泄研究に関する様々な学問分野からの話題提供を通して、研究手法の多様さ、そして排泄という現象そのものの多様さを浮き彫りにし、研究対象としての「出すこと」「出たもの」のおもしろさをとことん追求する機会にしたいと思います。

2024
2/10 土 13:00~16:10
(開場 12:30)

会場：信州大学松本キャンパス
理学部C棟2階大会議室 (当日参加可)

オンライン配信：Zoom (要事前申込み, 先着150名)
※いずれも参加費無料

趣旨説明 松本 卓也 (信州大学理学部)

第一部 人類学における排泄のおもしろさ



基調講演 「排泄人類学とグローバルサニテーション」
山内 太郎 (北海道大学大学院保健科学研究所 教授)



特別講演 「ゴリラのフンコロジー」
山極 寿一 (総合地球環境学研究所 所長)

第二部 排泄研究 リレートーク

北山 遼 (北海道大学大学院環境科学院)

オナガザルの排泄と社会—ウガンダの混群と地獄谷の温泉サル—の社会マイクロバイーム—

原田 英典 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

環境衛生工学的視点から考える排泄, その始末および健康・環境との関わり

竹中 將起 (信州大学理学部)

糞分析を用いたニホンザルの水生生物食の解明と生態系を支える昆虫類における排泄の機能

林 耕次 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

狩猟採集民の排泄行動—アフリカ熱帯における個体追跡の事例より—

第三部 パネルディスカッション

オンライン配信 事前申込み方法

以下のQRコードを読み取り、もしくはURLにアクセスして、必要事項を入力の上送信してください。ご登録いただいたメールアドレス宛に、当日の配信URLを送付いたします。

申込み締切: 2月10日正午

<https://forms.gle/yijpDo2bqtKYJpmV8>



問い合わせ: evo.anthropol.shinshu@gmail.com
(信州大学理学部生物学コース進化人類学分野)

